第3編

重点プロジェクト

- 第1 施策体系図
- 第2 重点プロジェクト
 - 1 「献上桃の郷」元気なまち推進プロジェクト
 - 2 「21世紀の追分」推進プロジェクト
 - 3 「心地いいまち こおり」推進プロジェクト
 - 4 「健康で活き生きと暮らせる町」推進プロジェクト

■6つの方針

■総合戦略の視点

■主な行政分野

01 活力と賑わいに満ちた まちづくり 産業を活性化し、新たな 雇用を創出 【仕事】

農業の振興

施策1

「桑折ならでは」の魅力と特色を生かした活力と賑わいに満ちたまちを創 ります

施策2 商工業の振興

施策3 土地利用の推進

02 暮らしと自然が調和した 豊かさを実感できるまちづくり 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり 【暮らし】

施策1 都市緑化・景観づくりの推

町の誇り・宝である恵まれた豊かな自然を守りながら、みんなが便利で快 適に暮らせる豊かなまちを創ります 施策2 道路・交通ネットワークの整

施策3 居住環境の充実

施策4 環境共生の推進

施策5 森林環境の保全

施策6 環境衛生の充実

03 健康長寿で元気なまちづくり

誰もが健康で生きがいを 持ち暮らせる地域社会の 形成 【生きがい】

施策1 健康づくりと医療の推進

みんなが生きがいを持ち健康で活き生きと暮らせるまちを創ります

施策2 地域福祉と障がい者福祉の推

施策3 高齢者福祉の推進

施策4 生涯学習の推進

施策5 生涯スポーツの推進

町の将来像(案)

「幸せを実感できる

る一元気なまち

■施策

基本計画

重点プロジェクト

- 1「献上桃の郷」元気なまち推進プロジェクト
- 2「21世紀の追分」推進プロジェクト
- 3「心地いいまち こおり」推進プロジェクト
- 4「健康で活き生きと暮らせる町」推進プロジェクト
- 1. 農業後継者者の育成強化と新規就農者の確保・支援
 - が成者の確保・文版 4. 有害鳥獣対策の強化
- 2. 農業所得の向上と農業経営の活性化
 - 5. 農村環境の整備充実

1. 商業の活力づくりの推進

3. 農地の効率的な利活用促進

- 2.空き店舗対策
- 3. 新たなサービス導入による商業活性化
- 4. 新たな雇用創出につながる工業振興と企業誘致
- 5. 中小企業経営への支援
- 6.新しい働き方への取組み

- 1. 新たな土地利用の推進
- 2. 都市的土地利用の推進
- 1. 魅力ある景観づくりの推進
- 2. 公園や広場の利便性向上
- 3. 緑化の推進

- 1. 広域交通網の計画的な形成
- 2. 地域公共交通の充実
- 3. 町道等整備と適正な維持管理

- 1. 空家等対策
- 2. 耐震化の推進
- 3. 町営住宅の適切な管理
- 4. 安全で安心な水の安定供給

- 5. 上水道と民営簡易水道の統合に向けた取組み
- 6. 水道事業の健全経営
- 7.河川環境の保全

- 8. 公共下水道の整備と適正な維持管理
- 9. 合併処理浄化槽の設置推進
- 1. 脱炭素社会実現への取組み推進
- 2.かわまちづくり事業の推進
- 3. 再生可能エネルギーの推進

- 1. 森林環境の保全
- 1. 廃棄物の適正な処理と資源循環型社会の形成
- 2. 公衆衛生の向上
- 3. 公害対策の推進

- 1. 感染症対策の充実 2. 心と体の健康づくりの推進
 - いて件の足がフィックは
- 3. 生活習慣病予防と重症化予防対策の推進

- 4. 健康環境づくりの推進
- 5. 地域医療体制の充実
- 6. 国民健康保険の財政運営健全
- 7. 後期高齢者医療制度における保険事業の推進
- 1. 地域ぐるみの福祉活動の推進
- 2. 障がい者支援と社会参加の促進
- 1. 高齢者支援の充実
- 2. 交通弱者対策の充実
- 3.生きがいづくりと社会参画の促進
- 4. 介護予防の推進と介護保険事業の充実

1.健康・体力づくりを目指す生涯スポーツの推進

- 1. 生涯学習活動の推進
- 2. 公民館等施設の管理運営
- 3. 芸術・文化の振興

2. スポーツ団体等の支援

- 4. 多世代交流の推進
- 5. 多文化交流の推進
- 3. 体育施設等の充実

町の将来像(案)

04 交流で絆を育むまちづくり

交流の輪を広げ、新たな 人の流れを創出 【人・資金の流れ】

みんなが互いに協力し、町の魅力や元気を発信しながら、交流の輪が広がるまちを共に創ります

施策1 観光交流の振興

施策2 歴史まちづくりの推進

施策3 移住定住の促進

施策4 シティプロモーションの 推進

05 子どもを大切にするまちづくり

結婚・出産・子育て・教 育の充実 【ひと】 施策1 子育て支援の充実

みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならで はの質の高い教育」を実現します。 施策2 乳幼児保育と教育の充実

施策3 学校教育の推進

06 危機管理に備えた安全安心の まちづくり

生活の利便性を実感でき る安全・安心なまちづく り 【暮らし】

施策1 消防・防災の強化

みんなが安全・安心に暮らせるまちを共に創ります。

施策2 生活安全対策の推進

計画の実現に向けて ~町民との共創と効率的な行財政運営~

6つの方針に基づく各種施策の実行に向けた方策と、実効性確保のための取組みを 推進します。 産業を活性化し、新たな 雇用を創出 【仕事】 方策1 健全で持続可能な財政運 営

生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり 【暮らし】

方策2 行政機能の充実強化

結婚・出産・子育て・教育の充実 【ひと】

方策3 誰もが参加できるまちづ くりの推進

交流の輪を広げ、新たな 人の流れを創出 【人・資金の流れ】

方策4 広報・広聴の充実

誰もが健康で生きがいを 持ち暮らせる地域社会の 形成 【生きがい】

- 1. 観光・物産の振興 2. 交流人口の拡大 3. 地域づくり・地域振興
- 1. 歴史的風致維持向上計画の推進 2. 文化財の保護・活用の推進
- 3. 桑折町文化記念館の復旧と役割の見直し
- 1. 移住定住の促進
- 1. シティプロモーション戦略の推進
- 2. 関係人口の創出
- 1.子ども・子育て支援事業の推進 2.母と子の健康づくり推進 3.ネウボラ(子育て支援)の充実
- 4. 児童福祉の充実
- 1. 待機児童ゼロの堅持 2. 幼児教育の質の向上と小中学校への接続
- 3. 家庭への手厚い子育て支援
- 1. 一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育の推進
- 2. 新しい時代に必要となる資質・能力の育成 3. 一人一人を大切にする温かい教育
- 4. 家庭への手厚い子育て支援 5. 教育施設・設備の充実 6. 小中学校のあり方の検討
- 1. 危機管理体制の強化 2. 消防・救急救助体制の充実 3. 地域防災力の強化
- 4. 新庁舎を核とした災害対策の充実 5. 災害へ備える防災基盤の整備 6. 国土強靭化計画の推進
- 1. 交通安全運動の推進 2. 防犯活動の推進 3. 消費者行政対策の推進
- 4. 放射能に対する不安解消
- 1. 町財政の健全性維持 2. 自主財源(ふるさと納税等)の確保
- 3. 公共施設の適正管理 4. 町税の適正な課税と収納率向上 5. 町税の収納率向上
- 1. 持続可能な行政運営 2. 窓口業務の充実 3. ICT等を活用したデジタル化の推進
- 4. 福島圏域における広域連携の深化 5. 関係市町村との連携推進
- 1. 町内会活動の活性化 2. 住民自治活動の活性化 3. 男女共同参画の推進
- 1. 多様な広報ツールを活用したタイムリーな情報発信 2. 広聴機会の充実

横断的な視点

アフターコロナ・ウイズコロナに対応した施策の推進 デジタルトランスフォーメーションの推進 SDGsの推進 人材の掘り起こしや育成・活躍の支援 誰もが活躍できる地域づくりの推進 地域づくりを担う組織や企業との連携

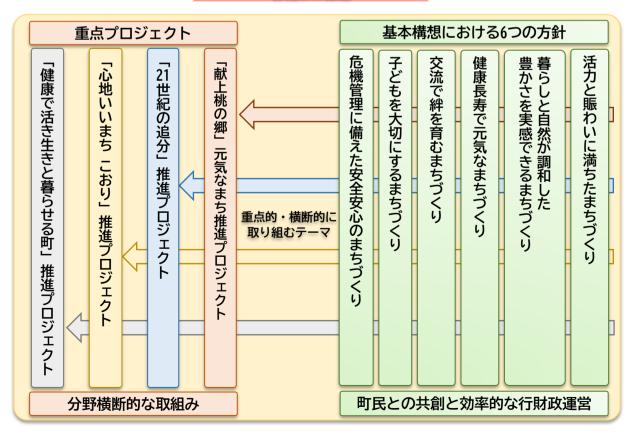
■重点プロジェクト(案)

「重点プロジェクト」は、町の将来像を長期的に見据えながら、「新しいまちづくり (新規性)」「桑折ならでは」といった個性あるまちづくりを創出するため、分野横断 的に取り組む主要な施策を抽出し、「重点プロジェクト」として括ることで、総合計画 全体を牽引していきます。

「献上桃の郷こおり 躍動プラン」では、本町を取り巻く情勢や、前計画で掲げた4つの重点プロジェクトの成果と積み残した課題等を踏まえながら、「産業」「土地利用」「交流」「移住定住」「健康」を切り口とした、新たな重点プロジェクトを設定し、魅力ある地域として本町の知名度が向上し、「住み続けたいまち 住みたいまち桑折」として選ばれる町を目指していきます。

【将来像・10年後の理想の町の姿】 「幸せを実感できる 元気なまち こおり」 ~住み続けたいまち 住みたいまち こおりの実現~

重点プロジェクトの推進 各施策の推進



「献上桃の郷」元気なまち推進プロジェクト













【施策の主な情勢】

■ 「献上桃の郷」展開プロジェクトの取組み

前計画では、農業振興活動拠点施設の整備やトップセールス活動の強化、首都圏や仙台圏でのPR販売、ソルベやゼリーなど6次化商品の企画開発・販売の促進に取り組むとともに、移住・定住人口の確保に繋げるPRイベントの開催、マスコミ等への情報発信やロゴマーク・グッズの作成などシティプロモーション(町広報戦略の展開)の視点に立った取組み等を重点プロジェクトとして戦略的に展開し、町のイメージアップと交流人口の拡大、農家をはじめとした町民所得の向上に取組みました。

いま、本町の農業は、特に果樹農家について、自然災害の影響や有害鳥獣被害などにより、従事者の生産意欲の減退が懸念されるとともに、超高齢化の影響などから減少の一途を辿っております。このままでは、本町の基幹産業である農業の衰退につながりかねない状況にあることから、「献上桃の郷」の産地維持と元気な農業に繋げるため、引き続き、重点的に各種施策に取り組んでいきます。









【プロジェクトが目指す姿】

■ 町に魅力を感じ、みんなが活力にあふれ、産業を次世代に継承できるまち

【主な推進事業】

(1) 人・農地プラン推進事業				
ア 就農・担い手確保	新規就農・農業後継者の支援や意欲ある担い手を確保			
イ 地域おこし協力隊	就農希望者を地域おこし協力隊に任命し、農業後継者の育成と本町の 農業の魅力を発信			
ウ 農地集積・集約化	意欲のある農家への農地集約を支援し、効率的な農業を推進			
エ 農業法人化の <mark>促進</mark>	青色申告納税者の増加に努め経営規模拡大と効率的な経営を促進しな がら農家所得の向上を図るとともに、農業法人化に繋げる。			
(2) 効率的な農業経営推進事	業			
ア 「献上桃の郷」産地維 持・継承事業	町特産桃の産地を維持・継承し、「献上桃の郷」ブランドを守るため 農家等を支援			
イ スマート農業促進事業	大学や農業関係団体と連携した研修等を通じ、農作業や作物管理への ICT化導入による効率化、省力化、多角化を促進			
ウ 自然災害対策事業	農業経営の安定化を図るため農業経営収保険への加入促進と多角化を 支援			
(3) 6次産業化推進事業				
ア農業交流促進事業	活力ある農業や所得向上に繋げるため、農業関連業種間の交流を促進 するとともに、6次産業化を推進			
ウ 研究・開発支援	6次化商品の研究・開発を支援する体制を構築し、農業の付加価値を 向上			
(4) 消費・販路拡大				
ア 農産物直売所整備等事業	農産物の販路拡大を図るため、直売所や観光農園の整備・施設の管理 運営等のあり方について調査研究			
イ 「献上桃の郷」PR事業	農家所得の向上に繋げるため、トップセールスやPR事業を積極的に展開し、さらなる知名度アップやブランドイメージの定着を促進			

「21世紀の追分」推進プロジェクト











【施策の主な情勢】

21世紀の追分推進プロジェクトの取組み

前計画では、国の東北中央道相馬福島道路の整備・供用開始に向け積極的に協力するとともに、ICやJCTに「桑折」の名称が用いられるよう、国の関係省庁に対し要望活動を展開しました。

また、かつての街道の分岐点、交通の要衝として栄えた「桑折宿」の再現を目指した「IC周辺土地利用検討事業」については、民間活力による広域的な複合型流通・業務拠点を形成すべく、法的な土地利用制限を解決する手法について調査・研究しながら「新産業団地基本構想(適地選定)」を策定するとともに、企業誘致活動に取り組みました。

開発行為に至るまでには、複数の法的規制が高い障壁となっており、未だ企業誘致や土地開発には至っておりませんが、立地企業である食品関連企業の工場増設や、自動車部品メーカーの集約・拠点化が進むほか、新たに自動車関連の物流企業が進出しています。また、隣接市のIC周辺エリアでは、大型商業施設進出計画が進展しており、改めて「東北自動車道と相馬福島道路の結節点」として、物流拠点となりうる地理的優位性が内外へ発信されたことで、伊達桑折IC周辺の開発への期待はさらに高まっていることから、引き続き、重点施策として各種施策に取り組んでいきます。







【プロジェクトが目指す姿】

■ 「21世紀の追分」として土地開発が進み、複合型流通業務拠点が形成されたまち

【主な推進事業】

	(1)	土地利用検討事業	
	ア	農村産業法桑折町実施計 画書(変更)策定	土地開発・企業誘致に向け、基本計画を策定し、福島県と協議
	1	インフラ整備検討	企業誘致力向上に向けた道路・水道等インフラ整備の調査・研究
	ウ	進出企業優遇制度検討	税の免除等、優遇制度の創設について調査・研究
	I	民間開発デベロッパーの 掘り起こし、企業誘致	工業団地開発業者や流通業者をはじめ、SDGsの推進に積極的に取り組む企業等の誘致活動を展開
	才	農業振興に資する土地利 用の検討	農業関連事業での新たな雇用創出に向け、農業関連施設の整備につい て調査・研究

新産業団地基本構想(適地選定)の図面

「心地いいまち こおり」推進プロジェクト

















【施策の主な情勢】

■ 移住・定住推進に向けた取組み

前計画では、町の魅力を全面的にPRするシティプロモーションの展開や、住宅の取得等を支援する「若者定住支援事業」、「お試し住宅」を活用した暮らし・農業体験事業、町営住宅の活用促進に向けた「子育て定住促進住宅制度」の創設など、若い世代の移住・定住促進に向け、さまざまな視点から各種施策を展開しました。

本町でも、立地企業の集約・拠点化が進み、関連企業が新たに進出するなど注目が高まっているとともに、隣接市では大型商業施設の開業に向けた計画が進展するなど、今後、移住・定住者の増加が見込まれる「千載一隅のチャンス」を迎えています。

移住希望者を受け入れ、人口減少を最小限にとどめ、町の賑わいを創出していくために、町民からも好評を得ている子育て支援や教育施策、暮らしやすい環境など町の魅力の積極的なPRや、若者が働く場所や住む場所の確保、日常生活の利便性向上など、移住希望者の視点に立った新たな施策について、各課横断的に展開します。









【プロジェクトが目指す姿】

移住希望者が、町の魅力や利便性・快適性を感じ、安心して移住できる「住み続けたいまち」

【主な推進事業】

(1) 移住・定住支援事業			
ア 移住・定住支援促進事業	移住セミナーの開催、住宅取得・改修など「住まいづくり」や、結婚 新生活支援事業など「生活」に関する経済的支援を実施		
イ お試し住宅活用型暮ら し・農業体験事業	移住希望者の積極的受入や福島大学との連携による暮らし体験や農業 体験を実施		
ウ 既存住宅活用及び住宅地 造成調査・研究	空家・空地の利活用促進を図るとともに、市街化調整区域等への新た な宅地造成も視野に調査・研究		
エ テレワーク環境整備事業	都市圏の若者世代をターゲットとしたテレワーク・ワーケーション環 境の整備		
オ Wi-Fi環境整備事業	町内各地区公共施設等への無料Wi-Fiスポット拡充について調査・研究		
(2) 交流拠点整備推進事業			
ア 商業施設・交流施設整備 事業	民間事業者の活力を活用した商業機能や交流機能を有する施設の整 備、空き店舗・空き地等活用によるチャレンジショップ事業の推進		
イ 多世代交流型施設整備事業	図書機能等を有する施設等、全ての世代が利用し交流できる施設の整備について調査研究		
(3) 子育て支援充実事業			
ア 子育て世帯支援事業	《妊娠から出産・子育て期にわたるきめ細やかな支援》、家庭の保育・教育にかかる経済的支援の充実、自然を生かした保育の推進、幼児保育・教育施設運営の充実		
イ 質の高い学校教育の推進	一人ひとりの能力が発揮できる学力向上・体力向上・心の教育、社会 の進展に対応できる資質・能力の育成(英語教育の充実、情報活用能 力の育成)		
(4) シティプロモーション推	進事業		
ァ シティプロモーション戦 ア 略	桑折にしかない地域資源をはじめ、好評を得ている子育て・教育施策など魅力の積極的発信、仙台圏を始めとした都市圏域住民との関係性 構築		
イ 歴史資源活用事業	交流人口拡大や関係人口創出を促進するとともに、町民の地域に対する愛着と誇りを醸成し、更なる魅力向上を図るため、歴史資源の再整備や歴史体感イベント等の開催により「伊達氏発祥の地」を広くPR		

「健康で活き生きと暮らせる町」推進プロジェクト













【施策の主な情勢】

健康長寿に向けた取組み

福島県は、健康寿命ランキングで男女共に第40位以下に位置しており、他県と比べメタボリックシンドロームが多く、その背景に、生活習慣病が関係していると考えられています。

本町でも、県同様に「メタボ」の割合は多く、「運動が少ない」「塩分の撮りすぎ」など、生活習慣が要因と考えらていることから、これまで「健康食育教室」などさまざまな健康づくりに取り組み、「肥満者の割合」など多くの項目で改善が見られていますが、国の目標値まで到達していない項目もあります。

こうした状況を踏まえ、町一丸となった努力が必要と捉え、企業・団体・関係機関など 多様な業種が集まり、健康について知恵を出し合い、楽しみながら学び合い、体づくりに 取り組むことを目的に「こおり健康楽会」を設立しました。

健康づくりは、家族をはじめ、関わる人全員が「健康」について意識することが重要で す。また、健康は、体だけでなく、心にもよい変化をもたらします。

健康寿命の延伸に向け、町民みんなが、住み慣れた町で、誰もが元気にいきいきと暮らせるよう、一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という健康意識の醸成と健康づくりの実践を支えるため、「こおり健康楽会」を中心とした笑い、運動、食の観点から健康を増進する活動に全町一丸となって取り組み、健康長寿なまちを目指します。



町民一丸となって、健康意識を高め、 食生活・運動・社会参加に楽しく取り組む





【プロジェクトが目指す姿】 住むだけで心身ともに健康になり、元気で幸せに過ごせるまち

【主な推進事業】

(1)	こおり健康楽会事業		
	ア	心と体の健康づくり事業	健康講演会の開催や健康教育の推進、民間企業等と連携した先進的な 健康づくり事業、食・運動・社会参加を促進するこおり健康ポイント 事業等を展開	
	イ	運動習慣づくり事業	水中スポーツ事業等メタボ予防対策事業や、いきいき百歳体操などの 健康づくり運動事業を推進	
(2)	スポーツ環境整備事業		
	ア	スポーツ公園(仮称)整 備事業	イコーゼ!周辺エリアのスポーツ総合公園化など、体育施設の一体的 整備について調査研究	
	1	「こおりの小径」を活用 した運動習慣づくり事業	「こおりの小径」を活用したモデルコース設定等により、誰でも気軽 に取り組めるウォーキング等を推進	
	ウ	スポーツ・健康づくり環 境整備事業	ウォーキングやサイクリングの促進に向け、路側帯の確保や歩道整備 等、安全に歩けるスペースの確保。また、防犯灯設置など、夜間の運 動にも配慮した環境づくりについて検討	

